



広報 あくね

第375号

住民基本台帳人口と世帯数
(3月1日現在)

人口	30,575
男	14,219
女	16,356
世帯数	9,236

昭和43年9月20日 第3種郵便物認可・毎月1回10日発行
昭和53年4月10日 鹿児島県阿久根市役所編集発行1部10円



4月号

魚の選別作業をする浜崎フデさん(写真右)

「働かにゃー」

新町 浜崎フデさん

年間漁獲量2万7,000トン、水揚げ高も40億円に達しようとする阿久根漁港では、今日も夜明けを待ちかねたように、水揚げ作業が始まっています。魚をあげる人、選別する人、せりをする人、行商の人…など、魚市場の朝は活気づいています。

浜崎フデさん(72歳)も水揚げ作業員として、朝早く魚市場で働く1人です。夕ボですくいあげた魚は、浜崎さんらが選別し、箱詰めにしたあと、多くの人たちの手を経て、全国の消費地に出荷されるのです。

「楽な仕事ではありません。しかし、働けるうちは体のためにも働かにゃー」と語る浜崎さんの表情は、元気で働けることに感謝されているようでした。

阿久根市民憲章

- 一、お互いにあいさつをかわし、みんなに親切をつくします。
- 一、時間ときまりを守り、住みよいまちをつくります。
- 一、花や緑を育て、きれいな郷土をつくります。
- 一、すすんで教養を高め、文化のまちをつくります。
- 一、元気で働き、明るい家庭、豊かなまちをつくります。

積極的な超大型予算を編成

一般会計52億円 前年比35.5%増

坂元市長 53年度施政方針発表



施政方針を述べる坂元市長

公共事業は前年度の二倍

五十三年度の予算などを決める第一回定例市議会は、三月十日から二十八日まで開かれ、坂元市長は施政方針のなかで一般会計の当初予算として、対前年度比三五・五%増の総額五十二億五千万円にのぼる超大型予算を編成し、積極的に公共事業を促進すると発表。前年度の約二倍にあたる十九億円の公共事業費を投入し、躍進する市政に更に活力を注ぐことを明らかにしました。

都市計画着工 躍動へと大きく前進

第一回定例市議会の開催にあたり、市政に対する所信の一端を申し述べ、市民の皆さんのご理解とご協力を得たいと思います。

厳しい内外の情勢

地方自治制度がスタートして以来、三十年を経過しましたが、そ

の間、地方行政はたゆみない発展を遂げてまいりました。しかしながら、今日それを取り巻く環境は極めて厳しく、かつ、激動の時期にあります。石油危機の発生、二百海里漁業専管水域の到来、昨年後半からの円高などに見られるような世界経

済の変動と資源の有限性が、地方財政に対しても容赦なく大きな衝撃を与えました。

経済成長は極度に鈍化し、企業活動も低迷しているなかで、物価の高騰、雇用の減退など社会不安は深刻なものがあつた。政府の必死の景気回復の努力にもかかわらずなかなか好転の兆が見えませ

超大型予算の国は二〇%増
県は前年度比一四・七%増

政府は昨年末、第二次の補正を含めて十五か月予算を編成し、内需の拡大など積極的な施策を講じておりますが、昭和五十三年の予算においては、更に強力な景気拡大策を基本方針としています。

このような国の予算編成方針を受けて、当市も昭和五十三年度の予算を編成しましたが、総額五十

二億五千四百七十三万円の予算額は、対前年度三五・五%の伸びであり、超大型といわれる国の予算の伸び率二〇・三%、鹿児島県一四・七%を大きく上回っています

公共事業費十九億五千万円
阿久根始まって以来の投資

公共投資額においても、前年度九億九千万円に対して、本年度は十九億五千万円を計上、その伸び率は九五・八%で約二倍の額であり、国の二七・三%、県三〇・七%をはるかに上回っています。

この超大型予算は、阿久根村が始まって以来九十年の歴史において、未だかつてないものであり、財源確保のためには並々ならぬ努力と苦心をいたし、更に国県補助の積極的導入を図りまして、市民の信頼と期待に応え得る予算ができたものと喜んでおります。

ゆたかな阿久根をつくる
温もりのある市政を推進

私は「明るく希望のもてる豊かな阿久根をつくる」ことを基本目標に、その柱として「青年には夢を、社年には働きがいのあるまちを、婦人には楽しい暮らし向きを、老人には温かい福祉の手を」と、四つの項目を立て、市政のなかにその具現を図ってきましたが、本年もその姿勢を堅持し、血の通った温もりのある市政を心掛けていきたいと思つています。

お年寄りに大きなプレゼント

事業費 一億円 老人福祉センター建設

今日、国、地方を問わず財政の硬直化がすすみ、福祉政策においても財政難による福祉の後退が懸念されていますが、陽の当たらない弱者に対する社会的救済策が現状よりも後退することは許さるべきではないと思っております。

本年度は大きな事業として一億二千八百万円をもって近代的設備を誇る老人福祉センターを建設し老人の健康保持、コミュニケーション、教養の場として利用に供し老後の生きがいを高めていただくほか、はり、きゅう施術料助成の改善など、きめ細かな施策も講じてまいります。

保健婦増員で指導強化

がん集団検診に助成金

保健衛生関係につきましましては、市民の健康保持増進のため、予防事業の強化を図り、疾病の未然防止、保健指導を徹底したいと存じます。そのために今まで国民健康保険事業で設置していた保健婦を一般保健衛生事業に移管すると同時に一名を増員し、成人病予防、循環器健康診断を実施します。またがんの早期発見のために、集団検診料を助成するほか、本年も多額の医療費支出に困窮する患者に

ては、引き続き国への強力な折衝を行い、本年度は最後の計画である外来棟の着工を実現して、施設内容の充実を図り、来年四月一日を期して国立病院に衣替するよう努力していきたいと思っております。

努力していききたいと思っております。

牧内の水圧不足を解消

国立療養所の外来棟改築
来年四月、病院へ衣替え
広域医療センターへの期待が寄せられる国立療養所の整備について

上水道施設では都市計画事業に伴う鶴見地区の配水管布設、牧内地区の水圧不足解消や黒之浜簡易水道の水源開発を行います。

鶴川内地区をほ場整備

事業費 二億円 農業の近代化を図る

市勢の発展は産業の振興にあり、といっても過言ではありません。従ってその振興のために、努めて重点的かつ効果的投資が肝要であ

ると思います。とりわけ農業は、農畜産物の輸入拡大、水田減反政策など難しい問題に直面しています。そこで本年度は、三億円を越

える農業振興費を投入し、積極的に農業基盤の整備を進めます。まず、第二次農業構造改善事業として、二億千百万円で鶴川内地区のは場整備事業に着手し、経営の近代化、機械化、省力化により生産の拡大を図ります。

畜産関係では畜産導入資金を二千三百万円に増額して、畜産経営の安定を図るほか、食肉センターを最新の近代的施設に改築し、北薩地区における食肉流通の拠点とするよう努力してまいります。

素畜導入資金を増額

食肉センターを改築

特産物の振興対策では竹林改良事業を導入し、タケノコの生産拡大を図りますが、グリーンビースの連作障害対策にも深耕対策補助のほか、クローリングマシンによる土壌消毒事業補助を復活します。

勤労者にもプレゼント

体育センターを誘致

設し、阿久根市に無料
で貸与する
ものです。

坂元市長が就任以来、陳情を重ねてきた勤労者体育センターの建設が本決まりになり、今年十一月完成を目標に、いよいよ六月着工します。総合グラウンドの補助グラウンドにできるこの勤労者体育センターは、雇用促進事業団が建

事業団では八千万円で建設する予定でしたが、阿久根市が数千万円を上積みして、約千二百平方メートルの体育館とするよう設計中です。(写真)昨年六月八日、朝秀夫雇用促進事業団理事長に陳情する坂元市長

脇本漁港など改良

並型魚礁を投入

二百海里漁業専管水域の設定により、沿岸漁業がクローズアップされてきましたが、本市は沿岸漁業で栄えてきた優位性を生かし、積極的な施策を講じなければなりません。そのためには漁港の整備を積極的に促進する必要があります。阿久根漁港の修築、脇本漁港、黒之浜港の改良事業などを推進します。また、漁場の整備開発として本年も並型魚礁を投入し、魚類の繁殖に必要な藻場造成事業を実施するなど、漁業経営の安定を図り、併せて水産加工業の振興を推進したいと存じます。

商工業経営の指導を強化 観光ルートの開発に努力

構造不況の深刻化と景気沈滞の長期化により、本市の商工業も不況の嵐にさいなまれております。国の積極的な景気浮揚策が期待されるところでありますが、当面商工会議所など関係団体と連携を図り、経営改善などの指導を強化します。また九州西海岸観光ルートの開発整備に努力し、北薩の中心観光地として魅力ある観光地づくりに努力してまいります。

道路整備 五年計画 目標を四年で達成

本年度は三億円を投資



道路整備は道路整備五年計画に基づき実施してまいりましたが、予定より一年早く計画が達成されるという目ざましい進捗状況であり、市道の新たな追加認定を行い、更に五

か年計画を樹て整備を図ります。本年も道路の新設や改良舗装を強力に推進することにより、千五百万円、道路予算としてはかつてない大型投資であります。

広域農道は、用地買収へ 生活道路整備補助も増額

このほか、県単農道舗装整備事業、県営開拓地整備事業による道路整備が進められますが、とくに出水地区広域農道地帯道路整備事業は、本年度から用地買収及び道路建設が始まり、農業振興はもとより農地開発の面でも大きな期待が寄せられるものと確信します。また、昨年から市独自の施策として実施している生活道路建設補助については、極めて好評であ

急ピッチですすむ市道の改良 柳屋（橋本下村・瀬之浦線）

るので、本年は更に補助額を増額し市民の期待に応えます。

鶴見地区の区画整理着工 公営住宅三十二戸を新築

都市計画事業は鶴見土地区画整理事業が本年から工事着工され、

折多小にプール・尾崎小に屋体

週二回の米飯給食を実施

政治、経済、社会、文化など、その発展は人間の英知に基づくものであり、国の興隆もまた優れた人材の育成にかかるところ大なる

幹線道路築造、橋梁工事、家屋移転などが実施され、同地域の効果的な土地利用による優れた市街地形成、都市化が進められ、魅力ある活気に満ちた新しい街づくりが期待されます。住宅関係では本年度も市営住宅八戸を新築するとともに、県営住宅二十四戸も山下地区に建設の予定であり、更にがけ地近接危険住宅移転事業や既存市営住宅の維持補修、住宅内道路などの整備などにも力を入れてまいります。長谷溜池整備事業は完成 折多たん水防除事業着工 土地改良関係では県営飛松地区たん水防除事業と長谷地区溜池整備事業が、本年度をもって完成しますが、新たに折多地区たん水防除事業、橋本地区海岸保全施設整備事業を導入して、農地の保全、生産基盤の整備を図ります。また、県営畑地帯総合土地改良事業は、五十四年度着工を目標として引き続き調査が行われます。

まず、学校教育につきましては、学校環境の整備改善、教育施設の充実が取り上げられますが、本年は折多小学校にプール、尾崎小学校に屋内運動場を建設します。また、学校教育の米飯導入につきましては、本年度から飯缶方式により、週二回の米飯給食を実施します。週二回の米飯給食の炊飯施設などの助成を行い、児童生徒の体位の向上、健全な心身の発達を

自衛隊誘致に全力を傾注

市民総ぐるみの運動を

その他、陸上自衛隊の誘致の問題がありますが、数多くの誘致希望市町のなかで、本市が最も有力視されていよいよ最後

総合グラウンド

夜間照明を増設

期してまいりたいと思っております。社会教育、社会体育関係では市民憲章の定着を促進するとともに青年、婦人、老人など各種団体の共同学習や体育活動の指導、充実を図る一方、総合グラウンドの夜間照明施設を増設して、スポーツ利用の増進を図ってまいります。

住民の心を心とした施政に

職員と一体となり市民奉仕

以上、施政の概要を申し上げましたが、施策の選択に当たっては市民の要望を極力公正に取り上げ、市民全体の生活の向上、福祉の増進を図られるよう十分にその行政効果を考慮して決定しました。本年は思いきった大型予算の編成によって、現下の不況克服への起爆剤とし、市政に活力を注ぎ、住民の生活意欲の増進を図ってまいりたいと思っております。

これからも、住民の心を心として、市長、職員一体となって、住民奉仕に徹した真の阿久根市自治行政の確立のために、粉骨砕身努力してまいりたいと思っております。市民の皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

事業につきましては、本年は五億八千万円の事業費を予定しており、工事も順調で、九月には新庁舎への移転が実現します。新しい消防

三月市議会 可決条例等の解説

市道が新たに十六線 認定されました

新しく認定された市道は、大川中屋敷の「一橋線」など十六線六千六百六十メートルです。これで市道の総延長は二十九万五千二百四十一メートルになりました。

紫尾林道は関係 市町共同で維持管理

広域幹線林道紫尾線は五十二年で総延長一万五千六百六十六メートル完成、関係する市町（阿久根市、川内市、宮之城町、東郷町、野田町、高尾野町）で維持管理することになりました。

なかでも阿久根市分がいちばん長く一万四百メートルで、これを維持管理するための関係市町で構成する協議会の規約が議決されました。

鶴川内ほ場整備は市が 事業主体になります

第二次農業構造改善事業で行う鶴川内地区ほ場整備事業は、土地改良法の定めるところにより、市が事業主体になることが認められ

受益農家二百二十四戸、面積は四十四・〇三ヘクタール、事業費は二億二千八百六十一万円です。

はり、きゅう施術料の 補助金が三百円になった

これまで二百円であった、はりきゅう施術料の補助金が三百円にアップされました。そして補助の対象は市内の施術者のところに限っていましたが、今度の改正で、市外の施術者にかかっても補助が出ることになりました。

やまなみを走る紫尾林道



助産費補助金は 六万円になります

国民健康保険に加入しているらっしゃる方の出産の際の助産費は従来四万円でしたが、本年度から六万円に改正されました。

予防接種による健康被害 調査委員会が設置される

予防接種によって健康被害が出た場合、適正な処置をはかるために阿久根市予防接種健康被害調査委員会設置条例ができました。委員には保健所長、専門医師、

大学生等の奨学金貸付が 一万二千円にアップされた

大学の授業料値上げにともない昭和五十三年度以降入学する大学生等に対する奨学金の貸付額は、従来月一万円が一万二千円にアップされ、基金の額も四千万円に改められました。

新しい春畑市営住宅 の家賃が決まった

市営住宅設置及び管理条例を改正し、五十二年度新築の春畑住宅八戸が加わり、老朽化した戸柱、塙の住宅の一部を廃止しました。新しい春畑住宅の家賃は一万三千二百円です。

「都市計画課」の 新設が決まった

近代的なまちづくりに欠かせない都市計画事業を効率的にするため、従来、建設課の中にあつた都市計画係と、建築係とで都市計画課とし、職員も増やして都市計画事業を強力にすすめることになりました。

都市計画課は、当分建設課のところに配置されます。



完成した春畑市営住宅

地区医師会の代表、学識経験者など十人以上で構成され、会長には市長があたり、医学的な立場から

人事異動（四月一日付）

- 税務課 参事（水道課長） 川畑 時義
- 保険衛生課 参事（議会議務局長） 野口末一
- 市民課 参事（市民課長） 中村宗夫
- 税務課 参事（農業委員会事務局長次長） 石沢涉
- 道路維持課 参事（土地改良課長補佐） 宇都四丸
- 福祉事務所 参事（保護係長） 餅越字
- 都市計画課 参事（商工水道課長） 花木支義
- 市民課長（土地改良課長補佐） 小牟田富治
- 商工水道課長（総務課長補佐） 鶴崎辰雄
- 貴島俊夫
- 議会議務局長（議事課長補佐） 小原庄吉
- 財政課長補佐（桑原祐示）
- 企画課長補佐（牧教雄）
- 道路維持課長補佐（田島良之）
- 税務課長補佐（川路正利）
- 土地改良課長補佐（馬見新純）
- 都市計画課長補佐（松山教生）
- 議会議務局長次長（新柳馨）
- 農業委員会事務局次長（石沢進）
- 会計課管理係長（折橋勝）
- 道路維持係長（尾原重徳）
- 財政係長（小原勲）
- 課長補佐（上村光基）
- 秘書広報係長（鶴田良平）
- 収納係長（鶴田幸吉）
- 耕地係長（園田昭夫）
- 保護係長（村山好弘）
- 環境保全係長（龜沢義和）
- 大川診療所管理係長（磯畑節夫）
- 農業振興係長（樫村幸雄）
- 議会議務係長（浦辰雄）
- 水産係長（花田達朗）

民生費十四億八千二百万円

老人福祉センター一億二千八百万円 で建設

生活保護、母子家庭、独居老人、身障者対策など、社会的に恵まれない人々への対策は特に濃厚で、予算全体に占める民生費の割合は二十八・二割にあたる十四億八千二百七十一万円が組まれ、なかでも老人福祉センターは一億二千八百万円をかけ、国民宿舎の隣に本年度中にできあがります。

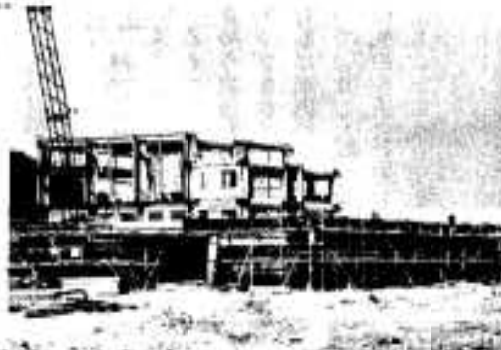
市民の健康を守る衛生費は総額二億五千万円で、新しい事業として、一歳六ヶ月児検診や、成人を対象とした循環器疾患健康診断、ガン発見の早期発見のための成人病集団検診の事業などがあるほか、妊

娠五ヶ月から生牛乳を無料で配達して母子栄養強化をはかるなどの対策も実現します。

畜産振興とも密切な関係がある食肉センターは、最近のと殺頭数の増加と、北陸地区食肉流通拠点として近代的な施設にするため、県の補助を受けて四億三千六百万円をかけ、本年度中に新築されることになりました。

また農協を通じて貸出される素

予算決まる の整備重点に 5,470万円 (一般計)



伸びゆく阿久根 市庁舎新築

畜導入貸付金も二千三百万円に増やし飼料貯蔵加工施設設置に対する補助金も百七万二千円が認められ、優良種雌豚導入事業なども継続されますので、畜産農家に喜ばれそうです。

生活道路1線 30万円の補助 グリーン連作障害対策にも助成

農林水産業費は全体の十三・一割を占め、二億円を超す鶴川内地区構造改善事業のほか、文旦の新しい病害虫防除対策や、えんどうの連作障害対策もあり、深耕やビクリン消毒には二十五割の補助が出るほか、いちご早期出荷対策(十五万円)、たばこ防風対策補助(二十六万五千円)なども実現しました。

なかでも好評の生活道路は七線が計画され、一線あたり三十万円の助成があるほか、竹林改良事業(六百万円)や、竹林作業道三千五百計八百四十万円もあります。



伸びゆく阿久根 茶円ヶ段線改良

歳 入				歳 出			
款	予 算 額	構成費	前年比	款	予 算 額	構成比	前年比
市 税	531,958千円	10.1%	26.4%	議 会 費	83,929千円	1.6%	14.4%
地 方 譲 与 税	48,000	0.9	20.0	組 務 費	1,091,142	20.8	117.4
自 動 車 取 得 税 交 付 税	27,000	0.5	3.8	民 生 費	1,482,710	28.2	19.1
地 方 交 付 税	1,608,000	30.6	14.3	衛 生 費	144,104	2.7	18.2
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	4,000	0.1	33.3	労 働 費	250,162	4.8	17.9
分 担 金 及 び 負 担 金	80,188	1.5	289.0	農 林 水 産 業 費	686,793	13.1	57.2
使 用 料 及 び 手 数 料	39,005	0.7	3.9	商 工 費	26,555	0.5	28.0
国 庫 支 出 金	880,139	16.7	△4.1	土 木 費	598,986	11.4	90.9
県 支 出 金	383,186	7.3	71.7	消 防 費	128,871	2.4	1.7
財 産 収 入 金	53,885	1.0	△5.0	教 育 費	481,150	9.2	11.3
寄 付 金	500	0.0	△85.7	災 害 復 旧 費	4,542	0.1	△97.6
繰 入 金	375,958	7.2	2,792.0	公 債 費	269,591	5.1	38.3
繰 越 金	50,000	1.0	150.0	諸 支 出 金	1,200	0.0	0.0
諸 取 入 債	455,916	8.7	31.4	予 備 費	5,000	0.1	0.0
市 債	717,000	13.7	110.3				
歳 入 合 計	5,254,735	100.0	35.5	歳 出 合 計	5,254,735	100.0	35.5

観光阿久根をP.R

新町通り街灯にも助成

商工費の総額は二千六百五十五万円で、観光阿久根のP.Rのためのポスター、パンフレット制作などに百十五万円が組まれているほか、美しい街づくり

に欠かせない新町通り会の街路灯設置に八十万八千円の補助が認められました。

水産業振興費では漁業後継者育成や漁業青年技術研修に四十三万円が認められているほか、県外船の水揚誘致対策にもはじめて十万円の予算がつきました。

また、漁港建設費は五千四十一万円が

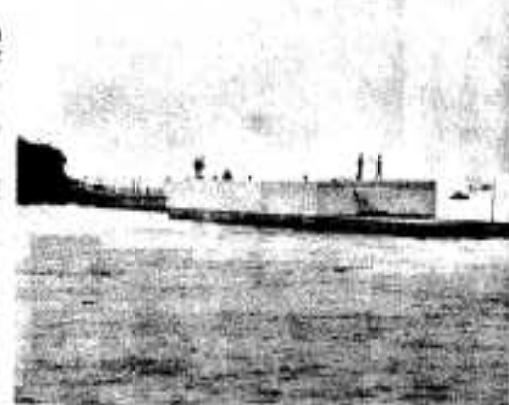
昭和53年度 福祉産業基盤

総額52億

組まれ、臨本漁港局部改良、佐高漁港堤防工事を市直営で実施するほか、県が行う阿久根港修築、五色浜海岸保全事業など、三億九百万円にのぼる事業費の市負担分三千十一万円も予算化されました。

住宅建設費は八千四百余万円の予算がつき、五十二年度に引続き、春畑団地に新しく八戸を建設するほか、がけ地近接危険住宅移転事業三千六百万円、常時浸水危険住宅移転事業百五十万円などの補助金が認められたので、特に山間地の住宅移転希望者には朗報となりそうです。

また市営住宅四百八十九戸を管



伸びゆく阿久根 黒ノ浜新港

市道改良舗装一万六千ト

土木費五億九千九百万円

土木費の総額は五億九千九百万円、一般会計予算総額に占める比率は十一・四割で、前年当初予算に比べ九〇割の伸びで大型投資を予定しています。

みんなどの財産である市道の愛護熱は年々高まっているので、各区の自主的な市道清掃に対する謝金も五十万円に増やしたほか、市道舗装、改良は各種の事業を組み合わせて一六六千を予定し、市単の新設市道も五百を計画しています。そのほか、交通安全施設に

も四百八十万円を予算化し、ガードレールやロードミラーをとりつけることにしています。

また土地改良事業として行う県単農道舗装では、山下開田線など一千二百十を計画、待望の広域営農団地農道整備事業も、いよいよ本年度から実現するほか、連尺野地区にも三百余を(阿久根分)ができ、折多洪水防除事業や県営畑舎事業の調査費二百一十万円がつき、瀬ノ浦など農道九百の新設補助金も認められました。

教育費四億八千百万円

尾崎小屋体も新築

教育関係の予算は総額の九・二割に当たる四億八千百万円で、人材を育成する学校教育、社会教育に数々の対策が組まれています。なかでも学校建設費七千九百万円の中で実現する尾崎小学校屋内運動場、折多小学校プール建設は待望のものだけに、両校の児童、父兄に喜ばれそうです。

社会教育関係では三百二十万に及ぶ報償金等で成人学校や、新生活運動などがすすめられるほかピアオナープレコダーも購入して社会教育の効果をもたげることになっています。

体育施設費は一千八百万円が組まれ、総合グラウンドの夜間照明増

新庁舎九月完成

市の政治、経済、文化のセンターとしてふさわしい新庁舎建設費は、前年に引続き、全体計画の六十一・八割に当たる五億七千九百二十八万円が組まれ、本年九月には新庁舎への移転が実現します。

新庁舎附近を区域とする鶴見地区都市計画費のうち土地区画整理費には一億一千百万円が組まれ、市庁舎に通ずる幹線街路ができることになり、それに伴う建物移転補償費なども認められました。

消防費の予算は総額一億二千八百八十七万一千円で、新しい消防庁舎の完成により、消防体制は強化され、市民の生命財産を守る条件が整いました。

また本年度予算で小型動力ポンプ付積載車購入(四百七十万円)や、各地域の消防車庫、防火水槽、消防道路設置など、八百三十六万八千円の補助金も認められています。



伸びゆく阿久根 山下小屋体

待望の新校舎完成

バイパス道路も工事中

鶴川内中



水造校舎が鉄路校舎に

終戦後、出水飛行場の兵舎を移転して建てられた鶴川内中学校の木造校舎が改築され、鉄筋コンクリートづくりの新しい校舎が、このほど完成しました。

事業費七千三百八十万円、床面積九百平方メートルの二階建ての新しい校舎は、三教室と六特殊教室のほか、校長室、職員室、保健室、事務室を備えたモダンな校舎です。

同校ではPTAなどの関係者も出席し、三月十一日落成祝賀会を行いました。校舎の完成を祝いました。また、鶴川内中学校の校舎と運動場を分断している市道、中央線の改良工事も進められています。この改良工事は、現在の市道、中央線を運動場の西側に移す。鶴川内中学校のバイパス工事」で、これが完成しますと、子供たちの

市庁舎建設を記念し植樹祭 林業功労者など表彰



開伐の部で入賞し表彰を受ける盛永鉄男さん

県緑化推進委員会と出水地区林業経営協議会、それに阿久根市主催による出水地区植樹祭は、こと

し八月、阿久根市庁舎が完成するのを記念して、鶴川内の高松川防災ダム上流で行われました。

お互いにあいさつをかわし、みんなに親切をつくします。

▽あいさつ先手運動で、阿久根市を気持ちいい町にしましょう。朝晩「おはようございませう」おはようございませう

市民憲章

実践シリーズ ① 互いに他人の喜ぶことを進んでみましょう。

青少年や一人暮らしのお年寄りに愛の声をかけ、老人や体の不自由な人に愛の声をかけよう。

子供には小さいうちから朝晩のあいさつ、食事のあいさつ出るとき帰ったときのあいさつ

▽小さな親切、奉仕、ボランティア活動

① 互いに他人の喜ぶことを進んでみましょう。

青少年や一人暮らしのお年寄りに愛の声をかけ、老人や体の不自由な人に愛の声をかけよう。

川内中学校のバイパス工事」で、これが完成しますと、子供たちの事故防止はもちろん、運動場も広くなり完成が期待されています。

市庁舎の完成を記念したこの植樹祭には、出雲三郎・県緑化推進委員会出水支部長をはじめ、坂元市長や牛之浜市議会議長のほか、出水地区の林業経営者など約三百人が出席し、ひとりひとりスギの苗を記念植樹しました。

記念植樹に先立って、永年にわたって市有林の造成管理に尽力された田畑岩さん(田代中)、若い頃から山林経営に関心をもち、弓木野愛林会を結成し、育林技術の改良、人工林化など地域林業の振興に寄与された中村長市さん、公有林官行造林の造成管理に尽力された牛浜清秀さん(尾崎)の三人が、市の林業功労者として表彰を受けました。また、出水地区林業技術奨励会の開伐の部に、尾崎の盛永鉄男さんが入賞しました。

誕生 おめでとう

出生児	保護者	区名
後迫 大志	文良	大丸
兼松 寛之	祐一	波留
折田 裕子	稔	本町
波留 由貴江	秀夫	波留
竹下 昌五	直三	大丸
水山 かおり	洋行	陣之尾
兵島 秀一	時夫	幸田
大堂 達也	純晴	上野
西野 秀美	英雄	永田上
若松 頼哉	積	牧内
栗丸 洋史	漢	(一段)
田原 美和	哲雄	大尾
河野 千里	国雄	大尾
上村 由貴子	正博	中村
中村 光成	成人	(楨)
今村 和史	昭雄	羽田
輪桑 愛美	善次	佐野
東 洋和	利彦	上野
小野 勝司	勝博	大尾
古賀 敏郎	正男	瀬之上
伊田 綾	哲朗	上野
乃一 義隆	義幸	中村
飛松 淳市	誠	(島)
山平 真由美	忠一	(小)
釜 幸代	英一	瀬之下
松本 義和	隆義	大谷
川俣 楠	新一	(高之口)
松田 東奈	嘉一	黒之浜
富沢 智洋	哲美	黒之浜
中村 拓也	正明	鶴之東
京田 真紀	正彦	瀬之上
富浜 雅也	吉郎	黒之浜

栄養・運動・休養 バランスを考えて これからの健康づくり

活など、これからの健康づくりに
ついて考えてみましょう。

高血圧や
動脈硬化が
原因で死亡
する人が多
いようです
が、高血圧
や動脈硬化
は、食生活
と深い関係
があります
そこで、
高血圧や動
脈硬化の予
防と、これ
らの元凶と
もいえる
肥満防止の
ための食生
活

肥満防止

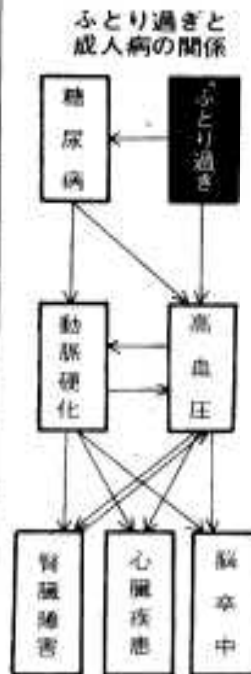
食生活のうえで、「食べすぎ」というのは、単に量を多く食べるといふことではなく、消費するエネルギー以上に飲み、かつ食べることを意味します。ですから、同じ量を食べても、Aさんには食べすぎとなり、Bさんにはエネルギー不足となることもあります。要は摂取量（食事）と消費量（運動・労働）のバランスの問題です。余分なエネルギーは、体内で脂肪

肪に変えられ、皮下に蓄積されて

「ふとり過ぎ」となり、高血圧や動脈硬化を招き、脳卒中や心臓・腎臓の疾患、さらに糖尿病などにかかりやすい体質になります。

食生活のポイント

第一に、体内で脂肪に変えられて蓄積されやすい糖質、つまり米パン、めん類、甘いもの、酒類などを減らすこと。
第二は高エネルギーの脂肪を減らすようにしましょう。



くらし

交通安全 「ゴールデンウィークに激増」 行楽は無理のない計画を

四月三十日（土）三十五人、五月一日（日）三十二人、五月三日（祝日）三十二人、五月五日（祝日）三十人
これは昨年のゴールデンウィーク期間中の土・日・祝日の交通事故死者数（全国）です。いずれも二十人を超え、昨年一年間の一日平均死者数、十四・五人に比べ

五、十人も多い犠牲者です。この結果、四月二十九日から五月五日までのゴールデンウィーク

一人も多くなっています。そして、犠牲者はマイカー族に多く集中しています。このため、ゴールデンウィークは、天國遊園とも言われています。楽しい行楽が一転して、死

の死者数は二百二十三人にもほり、昨年中の一週当たり平均、百七十三人に比べて、三〇%（五十

への旅立ち」とならないよう、無理のない運転とスケジュールを心がけたいものです。

からだの組織づくりの役目を果たすタンパク質やミネラル、ビタミン類は減らさず、むしろ多目にします。なお、食事の回数是一日三回を守るほうが効果的です。一食抜いたという安心感から、かえって食べすぎとなるようです。
また、減食の「落とし穴」は間食コーヒー、紅茶、甘味飲料そして酒類です。砂糖分やアルコールは量の割りにエネルギーが高く、とりすぎになりがちです。

転居届はすみましたか？

今月は進学、就職、転勤などで、住所を変えた方も多いことでしょう。住所を変えたときは十日以内で市役所に住所変更届をすることになっています。あなたのご家族で、転入・転出や転居などをされた方がありましたら、区長さんを通じて、早目に市役所にお届けください。

住所を変えたときは、郵便局や市役所市民課窓口へ届ける転居届用紙により、郵便局にも届けをしたいと思います。

また、転居の三、四日前までに最寄りの九州電力営業所にも転居届をしますと、転居先ですぐ電気が使えますので便利です。

御冥福をお祈りします

山下	キツ	74	(遠)	矢利雄
花田	ヒロ	91	(仲)	仁田平吉
的場	有助	85	(的)	場道徳
花木	キヨ	78	(大)	尾明俊
柁	ツルマツ	86	(大)	川島光善
春田	貞雄	37	(牧)	内重美
花田	スエツル	71	(的)	場カスミ
中野	セムマツ	75	(仲)	仁田森光
平田	ハツノ	79	(横)	手兼志
藤園	敏道	41	(大)	川島敏道
内藤	利則	89	(遠)	見岡チマ
花田	チヨ	74	(仲)	仁田学
中村	ツナ	86	(的)	場エミ
花木	キヲ	88	(的)	場俊治
牛之浜	ハツカメ	73	(横)	手忠
中西	長次郎	73	(高)	松キヤ
寺地	景雄	45	(尻)	無下イチエ
上松	イ子	57	(上)	野道治
飯田	高満	81	(新)	町節
西浜	チホ	69	(脇)	本浜進
辻	ミヨ	75	(古)	里秋義
松本	美穂	30	(脇)	本浜太郎
柁山	一意	78	(黒)	之上キヨノ
園田	戸右衛門	78	(古)	里ハツエ
黒坂	正道	52	(大)	谷ユキエ
石沢	ミ子	77	(大)	徳福幸

納税にご協力を

今月は軽自動車税と固定資産税一期分の納期です。期限内に納入しましょう。

虚無僧踊りを復活

18年ぶり横手婦人会



勇壮に踊る婦人会の人たち

市民のひろば

十八年前の祇園祭を最後に、後継者難で途絶えていた鶴川内横手の虚無僧踊りが、このほど復活。鶴川内中学校の校舎落成祝賀会に続き、三月二十七日、鶴川内小学校で行われた同校区婦人会総会でも披露されました。

復活に乗り出したのは横手婦人会。同校区では鶴川内中学校の校舎の落成を記念して、各地区から出し物を出して祝賀会を行うことになり、横手では婦人会が虚無僧踊りを復活させることになったのです。

大踊りと小踊りで構成されている

虚無僧踊りは、女形の小踊りや、大踊りを覚えている人が少ないもの、知っている人に聞いては振り付けるといふ有様で、ようやく披露の運びとなったものです。同婦人会では「虚無僧踊りは数少ない郷土芸能のひとつ。若い人たちに伝承していきたい」と話しています。

演劇などでにぎわう

市青協が青年祭

第五回阿久根市青年祭は三月五日、市民会館で行われました。阿久根市の未来をになう青年同活動

の一年間の集大成としての青年祭では、赤崎佳代子さんの意見発表や各地区青年団による演劇などが発表されたほか、市高齢者学級や婦人会などが友情出演し、訪れた市民を喜ばせていました。

運動公園で村づくり

「村づくりは地域の人たちの融和から」と、鶴川内村では村の小

手づくりのホウキを寄贈

柘老人クラブ 市内の老人ホームに



女の人たちはぞうきん作り

「余生を社会のために役立てよう」と、柘老人クラブのお知り合いたちは、このほどホウキやぞうきんをつくらせて、市内の老人ホームに贈りました。

郷土芸能の復活や古くから伝わる道具の作り方などを子供たちに教え、世代を超えた「心のふれあい」を大切にしている同老人クラブは、体の不自由なお年寄りや身寄りのいないお年寄りたちの世話をし

高い丘にある共同納骨堂の近くに小さな運動公園を設け、三月二十五日運動場開きを行いました。

運動場開きには、各班から趣向をこらした「おはら節」や「炭坑節」などの踊りが披露され、梅地区の人たちは弁当を食べたり、ひと足早い「花見酒」に酔いながら踊りを楽しんでいました。

梅では、この運動公園を「憩いの広場」にし、村づくりに役立てることにしています。

いる老人福祉施設に、ホウキなどを贈ることにしたものです。兩の日、公民館に集まってホウキなどをつくるお年寄りたちの表情は、いきいきとしていました。

在宅医さん

在宅の診療時間は午後九時から午後五時までです。急患のかた以外は、日曜日、祭日の診療はご遠慮ください。

- 四月十六日
- 堀切医院 ②0263 (高松)
 - 田中医院 ③0553 (大丸)
 - 石原医院 ④0045 (橋之東)
- 四月二十三日
- 阿久根内科 ②0578 (新町)
 - 中村病院 ②0015 (大丸)
 - 浜之上医院 ②600 (脇馬場)
- 四月二十九日
- 上岡医院 ③1055 (本町)
 - 喜多医院 ②0038 (大丸)
 - 平 医院 ④2626 (古里)
- 四月三十日
- 北国医院 ②0016 (本町)
 - 内山病院 ④1551 (高松)
 - 黒木医院 ⑤0200 (下村)
- 五月三日
- 堀切医院 ②0263 (高松)
 - 林 病院 ③0836 (本町)
 - 石原医院 ⑤0045 (橋之東)
- 五月五日
- 阿久根内科 ②0578 (新町)
 - 田中医院 ③0553 (大丸)
 - 浜之上医院 ②600 (脇馬場)
- 五月七日
- 上岡医院 ③1055 (本町)
 - 中村病院 ②0015 (大丸)
 - 平 医院 ⑤2626 (古里)

「農作業は任せて——」

山下校区 婦人会 病気見舞いに労力奉仕

物質的な豊かさのなかで、「心」の貧しさが浮彫りになっている昨今、山下校区婦人会の会員十三人は、追突事故のためムチウチ症で困っている田島始恵さんを励まそうと農作業を手伝い、田島さんを感激させました。



「治療に専念して」と果樹園の除草をする婦人会員

田島さんは山下校区婦人会会長。二月二十二日、県社会教育大会に出席のため、市婦人会役員の人たちとマイクロボスで鹿児島市に向かう途中、早木野市で追突事故。北平友子さんが入院したほか、同乗者十六人全員がムチウチ症となり治療中です。同乗者のほとんどが、事故当日はたいした症状もなく、元気に大会に出発したものの、数日してか

らムチウチ症となり、次第に病状が悪化し、田島さんもその一人。農作業もできない状態で、見かねた同校区の婦人会員ら十三人が「農作業は私たちに任せて」と自主的に奉仕作業を申し出て、田

島さんの文巨額などの除草や肥料散布を手伝ったものです。

思い掛けない奉仕作業の「病気見舞い」に田島さんは「時折折主人が、婦人会が何になるか」と話すことがあります。こんなにも婦人会がありがたいと思ったことはありません」と喜んでいました。

「自分の道を歩きます」

中学校から社会へ

卒業シーズンを間近に控えた三月十四日、市民会館で「社会に巣立つ中学生の集い」がありました。家族や友達と別れて、ひと足早く社会人の仲間入りをする二十二人の若者たちは、新しい生活への不安を述べながらも、一人一人しっかりとした口調で、はきはきと決意を述べていました。

集いには小野助役や兼教育長らが出席。「これから実力の社会に変わりつつある。将来への展望を開きながら、アイディアを生かし

て創意工夫せよ」と激励。

これに対し子供たちは「私も進学したかったが就職することに決めた。自分の選んだ道を、しっかりと歩いていきたい」「成長は両親のお陰です。これからも自分に恥ない人生を送りたい」などの決意を述べていました。

新しい生活への不安と就職への希望を述べる子供たち



わたしの お父さん ①

西目小学校5年生
猿楽てるよ



猿楽長雄さん

わたしのお父さんは、とてもおもしろいお父さんです。それは、ごはんを食べているときでも、おならをプープーひります。これでよくタクシーの運転手がつとまるなあと思います。

にして「てるよ」と言います。なにかくれるのかなあと思っ行ってみると「タバコをもってけえ」と言います。だからわたしは「なまにっかねえ」と言います。ベッドにねていると、電気をけしたりふとんをきれいにしてくれます。そんなお父さんが大好きです。

社協だより

次のかたがたから、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。特志寄付

ロッキンロールダンシングクラブ 香典返し寄付(敬称略)

田上ヨシエ(桜) 上堀藤一(本町) 花田ツルエ(川畑) 岩崎サヨ(高之口) 西浜進(脇馬場)

柳ツル(大川島) 宮田兼芳(波留) 的場道徳(的場) 川畑マキ(牛之浜) 松田道(本町)

前田マナエ(羽田) 伊光善(大川島) 花田平吉(仲仁田) 花

木明俊(大尾) 中野森光(仲仁田) 中村竜実(的場) 藤原末

子(大川島) 花田寛(仲仁田) 中西キヤ(高松) 野村正行(的

場) 上松道治(上野) 牛之浜忠(横手) 内藤徳(遠見ヶ岡)

小田原俊雄(大丸) 花田ハナエ(仲仁田) 富浜西海(脇本浜)

飯田節(新町) 西園興四和(高之口) 大田キヨノ(尻無中)

大口市と交流会
脇の花がほころびはじめた三月二十五日、大口市羽月地区老人ク

ラブの一行二十四人が、桐野運動公園を訪れ、脇本地区老人クラブと親善交流会を行いました。交流

会では意見交換したあと、ゲートボールで交流を深めました。

ボールで交流を深めました。



おしらせ

裁判を傍聴 しませんか

五月三日は「憲法記念日」です
が、これにちなんで五月一日から
五月七日までを「憲法週間」と定
められています。

憲法週間では憲法の精神や司法
の機能について普及徹底をはかる
ため、日曜、祭日を除いて裁判所
の見学や傍聴を受け付けます。で
きるだけ十人以上の団体で最寄り
の裁判所にお申し込みください。

無料相談所を開設

憲法週間の五月六日、鹿児島市
の山形屋アパート七階六号社友室

精薄者相談 員を委嘱

精神薄弱者の福祉増進に活動し
ていただくため、大丸町の池上博



大丸 池上博義さん



尻無中 寺地兼至さん



大谷 松木静雄さん

義さんと尻無中の寺地兼至さん、
大谷の松木静雄さんの三人が、精
神薄弱者相談員に委嘱されました。
精神薄弱者相談員は、精神薄弱
者の養育や生活などについて相談
を受け、必要な助言や指導を行う

ほか、施設への入所、就学、就職
などについて指導する一方、関係
機関への連絡などを行うことなど
が主な仕事です。
精神薄弱者のことで、お困りの
方は遠慮なくご相談ください。

で、無料法律相談所が開設されま
す。

金融貸借、売買、相続、婚姻、
離婚、養子関係その他民事刑事問
題などでお困りの方は、遠慮なく
ご相談ください。

生活学校生を募集 申込みは婦人会に

みんなで商品や公共サービスの
問題などを出し合い、話し合いに
よる社会参加の道をひらく運動を
すすめている市生活学校では、昭
和五十三年度の生活学校生を募集
しています。

市内に住所のあるご婦人で、入
校ご希望の方は、四月二十日まで
に各婦人会長にお申し込みくださ

い。なお、昭和五十三年度の開講
式は、四月二十六日(水)午前十
時より市民会館で行います。入校
申し込みをされた方は、あらため
て通知をしませんので、開講式に
ご出席ください。

農業研修生募集 アメリカに派遣

果農村青少年クラブ連絡協議会
では、アメリカの企業農場で実践
と視察研修を積み、帰国後、すぐ
れた企業感覚と実践力で、農業経
営のリーダーとなる青年を育てる
ため、次のように派遣生を募集し
ています。

ご希望の方は、五月十日までに
県農政部長官技術課内、農村青少
年クラブ連絡協議会(☎0992
8111)または農業改良普及
所にお申し込みください。
応募資格 将来、企業的農業経
営を目指す農村青少年クラブの中

核者またはそのOBで、二十二歳
以上三十歳未満の人。高校卒業程
度の労力があり、長期の農業労働
に耐える体力と精神力のある男子
提出書類 クラブ活動実績書、
身体検査書、レポート他。
研修科目(次のいずれか一つ)
野菜、花き、果樹、酪農、肉牛、
養豚、養鶏。
詳しくは農業改良普及所などに
お問い合わせください。

四月に賃金改定 出水地区工友会

大工、左官などで組織している
出水地区工友会では、四月一日か
ら別表のように賃金を改定しまし
た。

就業時間は午前八時から午後五
時まで、休憩時間は昼食時間が一
時間のほか、午前午後各十五分ず
つとなっています。また、定休日
は第一日曜日と第三日曜日となっ
ていますのでご協力ください。

別表 出水地区工友会賃金表

区分	基本賃金
2級技能士 一般	7,500円
2級建築士 1級技能士	8,000円
責任者	8,500円
満65才以上の人及び養成期 間満4年修了後3年未満の人	基本賃金の 1割引以上

組合長に上野時義さん

同久根農協の新理事に富古福藏
上野時義、神之田月教、永井野治
慶越誠喜、松永俊明、迫庄吉、若
松阪二、前田末雄、赤瀬川悖、平
田一男の各氏が就任。理事による
互選の結果、上野時義氏が組合長
理事に就任。監事は尻無浜熊雄、
東園信行、牧内猪之助の三氏。

税の知識シリーズ4

土地や建物を 売ったときの税金

土地や建物を売ったときに生じ
る利益を譲渡所得といいますが、
これには所得税がかかります。

所得税は一年間のいろいろな所
得を総合して税金を計算すること
になっていますが、土地や建物を
売ったときの譲渡所得は、他の所
得と分離して税金を計算します。
また、土地や建物の取得の時期
が、昭和四十三年以前か、それと
も昭和四十四年以後であるかによ
って、長期譲渡所得と短期譲渡所
得に分かれ、長期譲渡所得には軽
く、短期譲渡所得には重く課税さ
れる仕組みになっています。

短期譲渡所得に重く課税される
のは、投資による土地の売買を抑
制すること、また、長期譲渡所得
が軽く課税されるのは土地の供給
促進を期待する政策的な目的によ
るものです。